

水野梅曉 みづの ばいけい 支那研究家。明治十一年一月一日廣島縣生れ、昭和二十四年十一月二十一日歿（八七—八九）。舊姓金谷、幼名善吉。長じて佛門に歸し京都大徳寺の禪堂に入る。明治二十四年上海の東亞同文書院に入り學ぶ。二十七年湖南省長沙の禪堂を開設、支那に於ける新佛敎教育の嚆矢といふ。また東方通信社に入社して月刊『支那時事』の編輯に従事。大正十三年支那時報社を興して『支那時報』を發刊。翌五年自ら幹旅奔走して日支佛敎界總動員の東亞佛敎大會を開催せしむ、十頁の餘の記録を編纂した。

著書に『蒙古古來變遷と一山國師の歸化』（昭和二年六月）『二十五日支那時報社「支那時報叢書」』、『滿洲國と圖書館の保有せる文化的資料と其の價值』（昭和八年五月、無刊記）等。

